



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日

上場会社名 四国化成ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4099 URL <https://www.shikoku.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）渡邊 充範  
問合せ先責任者（役職名）取締役 企画管理担当（氏名）安藤 慶明（TEL）0877-22-4111  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月6日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	35,225	14.1	4,835	27.7	5,936	25.8	4,032	25.5
2023年12月期中間期	30,880	—	3,786	—	4,720	—	3,212	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 5,335百万円（△0.5%） 2023年12月期中間期 5,361百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	85.41	—
2023年12月期中間期	61.22	—

当社は、2022年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、前中間期（2023年1月1日から2023年6月30日）と比較対象となる前々中間期（2022年4月1日から2022年9月30日）の期間が異なるため、対前年中間期増減率については記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	131,878	81,271	61.1
2023年12月期	131,046	86,867	65.7

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 80,512百万円 2023年12月期 86,157百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2024年12月期	—	25.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 詳細につきましては、本日（2024年7月30日）公表いたしました「株主還元の基本方針の変更及び剰余金の配当（中間配当）、期末配当予想の修正並びに株主優待制度の廃止に関するお知らせ」もあわせてご覧ください。

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	7.7	8,200	2.2	9,500	2.4	7,900	0.6	171.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	44,869,563株	2023年12月期	50,760,663株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	176,804株	2023年12月期	176,415株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	47,217,749株	2023年12月期中間期	52,476,931株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間期連結会計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動や設備投資は持ち直しの動きがみられますが、為替レートの円安や資源高、物価高などをを受けて消費者マインドは力強さを欠き、住宅投資などは低調に推移しています。海外経済は、米国では個人消費を中心に景気が堅調に推移していますが、地政学的リスクの高まりから世界的な海運環境の混乱が続いており、当社にとっては事業リスクの1つとなっています。

このような状況下、当中間期連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)の当社グループの売上高は352億25百万円(前年同期比14.1%の増収)、営業利益は48億35百万円(前年同期比27.7%の増益)、経常利益は59億36百万円(前年同期比25.8%の増益)、親会社株主に帰属する中間純利益は40億32百万円(前年同期比25.5%の増益)といずれも前年を上回りました。

化学品事業の海外市場での販売が好調に推移し、為替レートが円安に推移したことも相まって、売上高及び営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のいずれも過去最高を記録しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①化学品事業

(無機化成品)

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、海外市場での拡販により前年を上回りました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素も輸出販売が好調で、前年を上回りました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、需要が低迷し、前年を下回りました。

(有機化成品)

殺菌消毒剤塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は家庭用サニタリー向けなどが堅調に推移し前年を上回りました。米国市場は、流通在庫の調整が進むとともに需給が引き締まり、前年を上回りました。

(ファインケミカル)

電子化学材料では、プリント配線板向け水溶性防錆剤タフエースは半導体・エレクトロニクス市場の底打ちにより輸出販売が好調に推移し、前年を上回りました。密着性向上プロセス GlicAPもサーバー基板向けで採用案件が増加し、順調に推移しました。

機能材料では、エポキシ樹脂硬化剤(イミダゾール類)や樹脂改質剤(グリコールウリル誘導体等)が市況回復を受けた輸出販売の増加などにより前年を上回りました。半導体プロセス材料も顧客評価の進展とともに、新規試作案件の獲得が進みました。

この結果、化学品事業の売上高は252億42百万円(前年同期比21.2%の増収)、セグメント利益は、40億90百万円(前年同期比41.1%の増益)といずれも前年を上回りました。

#### ②建材事業

建設コスト高騰などの影響で持ち家を中心に新設住宅着工戸数の減少傾向が続き、住宅向け需要が落ち込む中で、当社の強みである非住宅分野向け景観エクステリアの拡販に取り組みましたが、販売は前年を下回りました。

この結果、建材事業の売上高は94億58百万円(前年同期比1.2%の減収)、セグメント利益は5億46百万円(前年同期比23.6%の減益)となりました。

[参考情報]

【海外売上高】

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	
	売上高(百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	売上高(百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)
アジア	2,657	8.6	3,840	10.9
北米	7,464	24.2	9,659	27.4
その他の地域	954	3.1	1,056	3.0
合計	11,075	35.9	14,555	41.3
連結売上高	30,880		35,225	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

財政状態は、総資産は、前連結会計年度末比8億31百万円増加し、1,318億78百万円となりました。主な増加は、投資有価証券43億58百万円、売掛金17億66百万円、主な減少は、現金及び預金58億20百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比64億28百万円増加し、506億6百万円となりました。主な増加は、長期借入金33億12百万円、1年内返済予定長期借入金22億17百万円、短期借入金15億円であります。

純資産は、前連結会計年度末比55億96百万円減少し、812億71百万円となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金9億59百万円、主な減少は、利益剰余金68億86百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.7%から61.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、31億14百万円(前年同期比28億95百万円の減少)となりました。主な収入項目は、税金等調整前中間純利益58億83百万円、減価償却費14億42百万円、一方で主な支出項目は、法人税等の支払額25億64百万円、売上債権の増加額14億54百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、193億9百万円(前年同期比161億47百万円の増加)となりました。主な支出項目は、有価証券の取得による支出132億7百万円、投資有価証券の取得による支出49億19百万円、有形固定資産の取得による支出20億89百万円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、39億2百万円(前年同期比20億88百万円の増加)となりました。主な収入項目は、長期借入れによる収入86億円、一方で主な支出項目は、自己株式の取得による支出102億21百万円、長期借入金の返済による支出30億70百万円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、240億76百万円(前連結会計年度末比195億20百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、当初公表の計画(2024年1月30日発表)を以下のとおり修正いたします。

1. 2024年12月期 連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	64,000	7,800	8,200	5,500	108.73
今回修正予想(B)	68,000	8,200	9,500	7,900	171.54
増減額(B-A)	4,000	400	1,300	2,400	
増減率(%)	6.3	5.1	15.9	43.6	

2. 修正の理由

売上高は、為替相場の円安基調により想定為替レートを修正し150円/米ドル、160円/ユーロとしたこと(当初計画140円/米ドル、150円/ユーロ)や、上半期において化学品事業の計画が想定以上に進捗したことから上方修正となりました。

一方営業利益では、資源価格や各種原材料価格が高騰しており、換算為替レートの円安効果の発現は一部に留まる見通しです。

また、営業外収益では為替差益の発生が見込まれ、特別利益では政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益の発生が見込まれることから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても当初計画を上回る見通しとなりました。

注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されております。

実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,947	24,126
受取手形	589	468
電子記録債権	3,021	3,331
売掛金	13,907	15,674
有価証券	17,505	18,011
商品及び製品	8,947	8,728
仕掛品	37	48
原材料及び貯蔵品	4,400	4,347
その他	1,278	755
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	79,631	75,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,926	5,960
機械装置及び運搬具(純額)	6,648	6,768
土地	8,693	8,800
建設仮勘定	3,446	3,792
その他(純額)	645	626
有形固定資産合計	25,360	25,947
無形固定資産	699	625
投資その他の資産		
投資有価証券	21,844	26,202
繰延税金資産	1,909	2,056
退職給付に係る資産	532	549
その他	1,070	1,008
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	25,355	29,816
固定資産合計	51,415	56,389
資産合計	131,046	131,878

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,940	8,654
電子記録債務	523	612
短期借入金	3,530	5,030
1年内返済予定の長期借入金	5,783	8,000
未払費用	1,476	1,628
未払法人税等	2,696	1,938
未払消費税等	558	190
設備関係支払手形	4	1
設備関係電子記録債務	84	374
その他	3,097	2,987
流動負債合計	26,694	29,416
固定負債		
長期借入金	12,906	16,219
繰延税金負債	2,191	2,614
再評価に係る繰延税金負債	998	998
役員退職慰労引当金	64	65
退職給付に係る負債	591	549
資産除去債務	370	371
株式給付引当金	43	55
その他	317	317
固定負債合計	17,483	21,190
負債合計	44,178	50,606
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,711	5,711
利益剰余金	66,077	59,190
自己株式	△226	△238
株主資本合計	78,430	71,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,044	6,003
土地再評価差額金	2,274	2,274
為替換算調整勘定	252	532
退職給付に係る調整累計額	155	170
その他の包括利益累計額合計	7,726	8,980
非支配株主持分	710	758
純資産合計	86,867	81,271
負債純資産合計	131,046	131,878

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	30,880	35,225
売上原価	19,137	21,349
売上総利益	11,742	13,875
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,788	3,266
広告宣伝費	467	515
給料	1,181	1,338
退職給付費用	75	64
役員退職慰労引当金繰入額	5	9
研究開発費	867	839
その他	2,568	3,005
販売費及び一般管理費合計	7,955	9,040
営業利益	3,786	4,835
営業外収益		
受取利息	103	148
受取配当金	271	241
為替差益	554	737
雑収入	35	16
営業外収益合計	964	1,143
営業外費用		
支払利息	17	28
寄付金	10	10
雑損失	3	4
営業外費用合計	31	42
経常利益	4,720	5,936
特別利益		
補助金収入	—	0
負ののれん発生益	32	—
特別利益合計	32	0
特別損失		
固定資産除却損	52	5
投資有価証券売却損	—	47
特別損失合計	52	53
税金等調整前中間純利益	4,700	5,883
法人税等	1,482	1,802
中間純利益	3,217	4,081
非支配株主に帰属する中間純利益	4	48
親会社株主に帰属する中間純利益	3,212	4,032

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	3,217	4,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,976	959
為替換算調整勘定	161	280
退職給付に係る調整額	6	14
その他の包括利益合計	2,143	1,254
中間包括利益	5,361	5,335
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,356	5,286
非支配株主に係る中間包括利益	4	48

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	4,700	5,883
減価償却費	1,623	1,442
負ののれん発生益	△32	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	△34
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△6	△3
受取利息及び受取配当金	△374	△389
支払利息	17	28
投資有価証券売却損益(△は益)	—	47
補助金収入	—	△0
有形固定資産除却損	52	5
売上債権の増減額(△は増加)	134	△1,454
棚卸資産の増減額(△は増加)	86	456
仕入債務の増減額(△は減少)	△95	△430
未払消費税等の増減額(△は減少)	57	△40
その他	△355	△194
小計	5,823	5,317
利息及び配当金の受取額	375	389
利息の支払額	△18	△28
補助金の受取額	—	0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△169	△2,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,010	3,114
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△3,000	△13,207
有価証券の償還による収入	3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,358	△2,089
有形固定資産の除却による支出	△28	△5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△81	—
投資有価証券の取得による支出	△706	△4,919
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	894
その他	△488	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,162	△19,309
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	1,500
長期借入れによる収入	3,000	8,600
長期借入金の返済による支出	△2,080	△3,070
自己株式の取得による支出	△3,039	△10,221
配当金の支払額	△687	△709
その他	△6	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,814	△3,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	363	577
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,397	△19,520
現金及び現金同等物の期首残高	36,683	43,597
現金及び現金同等物の中間期末残高	38,080	24,076

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月28日、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式5,891,100株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が10,221百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2024年2月28日、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2024年3月8日付で、自己株式5,891,100株の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が10,209百万円、自己株式が10,209百万円それぞれ減少しました。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
無機化成品	6,785	—	6,785	—	6,785	—	6,785
有機化成品	9,796	—	9,796	—	9,796	—	9,796
ファインケミカル	4,249	—	4,249	—	4,249	—	4,249
壁材	—	633	633	—	633	—	633
エクステリア	—	8,937	8,937	—	8,937	—	8,937
その他	—	—	—	465	465	—	465
顧客との契約から生じる収益	20,830	9,570	30,401	465	30,866	—	30,866
その他の収益	—	—	—	13	13	—	13
外部顧客への売上高	20,830	9,570	30,401	478	30,880	—	30,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	1	5	150	155	△155	—
計	20,834	9,572	30,406	629	31,036	△155	30,880
セグメント利益	2,898	715	3,614	56	3,671	115	3,786

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額115百万円は、事業セグメントに配分していない損益等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
無機化成品	7,564	—	7,564	—	7,564	—	7,564
有機化成品	12,001	—	12,001	—	12,001	—	12,001
ファインケミカル	5,676	—	5,676	—	5,676	—	5,676
壁材	—	624	624	—	624	—	624
エクステリア	—	8,833	8,833	—	8,833	—	8,833
その他	—	—	—	512	512	—	512
顧客との契約から生じる収益	25,242	9,458	34,701	512	35,213	—	35,213
その他の収益	—	—	—	11	11	—	11
外部顧客への売上高	25,242	9,458	34,701	523	35,225	—	35,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	1	3	144	148	△148	—
計	25,245	9,460	34,705	668	35,373	△148	35,225
セグメント利益	4,090	546	4,637	71	4,708	127	4,835

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額127百万円は、事業セグメントに配分していない損益等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。